

## 令和元年度 第3回 社会教育委員の会議 摘録

- 【日時】 令和元年12月4日（水）午後3時00分～4時20分
- 【場所】 大牟田市役所 302会議室
- 【出席委員】 上田委員、西田委員、柿原委員、堺（婦）委員、野田委員、松尾委員、江崎（美）委員、後藤委員、岡本委員、柿川委員、堺（裕）委員
- 【欠席委員】 江崎（君）委員、藤本委員
- 【行政関係者】 中島市民協働部長、富安市民協働部調整監、徳川地域コミュニティ推進課長、大倉野生涯学習課長、楠生涯学習課青少年担当課長、徳永スポーツ推進室長、平田人権・同和・男女共同参画課長、西田地域コミュニティ推進課社会教育主事、岡同課社会教育担当職員、西山同課社会教育担当職員

### ◆あいさつ

中島市民協働部長

### ◆報告

#### 令和元年度福岡県社会教育研究大会について

配布資料『研修会参加報告書』に基づき、江崎(美)委員、堺（婦）委員より報告。

#### 令和元年度筑後地区市町村社会教育委員研修会について

配布資料『研修会参加報告書』に基づき、堺（裕）委員、江崎(美)委員より報告。

### ◆議題

#### 大牟田市子ども読書推進計画の改訂について

配布資料『大牟田市子ども読書推進計画の改訂について』、『大牟田市子ども読書推進計画（素案）』に基づき、大倉野生涯学習課長より説明。以下の意見・質問が出た。

議長	『大牟田市子ども読書推進計画（素案）』の7ページに大牟田市の不読率（月に1冊も本を読まない人の割合）が平成25年と比較すると8.1ポイント減少したと書いてあるが、市の取組みで貢献したところは何か。
行政関係者	読書ボランティアの継続的な活動、学校で取り組まれている朝読などが挙げられる。他市と比べても読書ボランティアとして活躍されている方が多い。また、保護者が朝の時間に子ども達に読み聞かせを行っている。朝読を行うことで1日の始まりを落ち着いてゆっくり進めることが出来る。
委員	学校によって毎週水曜日、月間と様々だが、どこも必ず行っている。読書ボランティアや図書委員による読み聞かせなどを行っている。
委員	学校側のカリキュラムに取り入れることで、子ども達が自分で読むことの大切さに気付く。
議長	読書ボランティアと学校側で話し合うことはあるのか。

委員	読書ボランティアがどのくらいの頻度で入るかは話し合うことがあるが、カリキュラムについては話し合うことはない。
委員	図書館教育研究校に倉永小学校が選ばれていたが、持ち回りなのか。そのときに、明光学園の学生と交流を行っていたが、他の小学校でも行っているのか。
行政関係者	持ち回りではない。
委員	小学校、中学校の距離が近いところでは可能だが、全ての小中学校で連携を行うことは時間、距離的に不可能である。
委員	吉野地区公民館でサークル活動をしていたとき、高校生が子ども達に絵本の読み聞かせをしていて、とてもよかった。
行政関係者	小学校の中でも高学年の児童が低学年の児童に対して読み聞かせを行っているという話を聞いた。読み聞かせを行うことでプレゼン力が上がる。この取組みが広がるといい。
委員	子ども達から読み聞かせの本の内容が難しかったという感想を聞いたことがあるため、学年に合った本を選んであげてほしい。
委員	『大牟田市子ども読書推進計画（素案）』の15ページに「子どもといっしょに読書（うちどく）の推進」が取組みとして記載されているが、ぜひ推進してほしい。
委員	子どもが寝る前に読み聞かせを行っているが、親子で過ごす時間として良いサイクルになっている。しかし、『大牟田市子ども読書推進計画（素案）』の3ページに「ブックスタート事業」の参加率が低いと記載されており、残念である。子どもだけでなく、親も楽しめるような工夫（例えばカフェで行い、親同士が交流できるなど）が必要であると思う。
委員	月に読む冊数を決め、読書の感想を書くなど目標を決めることが大切であると思う。本を読むことが経験になると思う。
委員	子どもは読書を始めるときに絵本から入る。そして、絵本は中学生にも心に残るものがある。無理をして単行本を読む必要はなく、高学年、中学生も絵本から読み始めることができる。また、子どもだけでなく親も本を読む必要がある。子どもが読書をしている間に、親がテレビを観ていると説得力がないため、親も一緒に読書すると良い。

## ◆その他

### 成人式のご案内について

楠生涯学習課青少年担当課長より説明。

### 令和2年度筑後地区市町村社会教育委員研修会について

事務局より説明。筑後地区市町村社会教育委員研修会については、令和2年度大牟田市で開催。